

数値目標：人口の社会減の抑制
2019年：66人 ⇒ 2024年：20人

人口の社会増減 ▲28人
人口の自然増減 ▲51人

人口の社会増減 ▲26人
人口の自然増減 ▲45人

人口の社会増減 ▲39人
人口の自然増減 ▲64人

本町の将来人口推計では2020年4,711人となっていたが、実際の人口は2016年が59人、2017年が91人、2018年が112人、2019年が110人、2020年が79人と5年間で451人減少(平均すると毎年91人減)して4,809人となり、人口推計と比べると緩やかな人口減少となった。

人口移動の状況は、社会増減が、2016年から2020年の5年間の合計が、道外▲34人、道内は▲211人と転出超過であり、2020年は道外7人の転入超過となり、道内▲35人、うち北見市が▲16人の転出超過となった。一方、自然増減は、昨年の過去最低だった出生数21人から5人増えたが、死亡者数の増により51人の自然減となった。

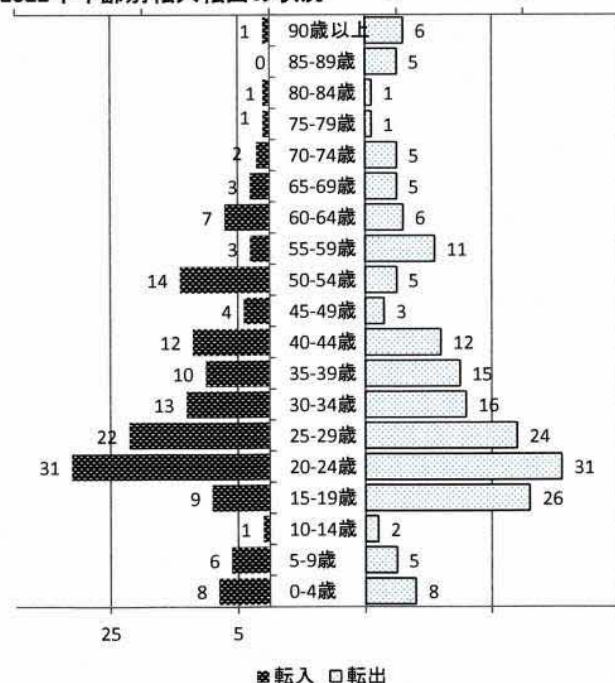
人口増減については、2015年、2016年は人口減少が抑制傾向であったが、2017年から2019年は大きく人口が減少し、2020年、2021年は減少が大きい過去3年と比べると、抑制傾向となった。

年齢別移動

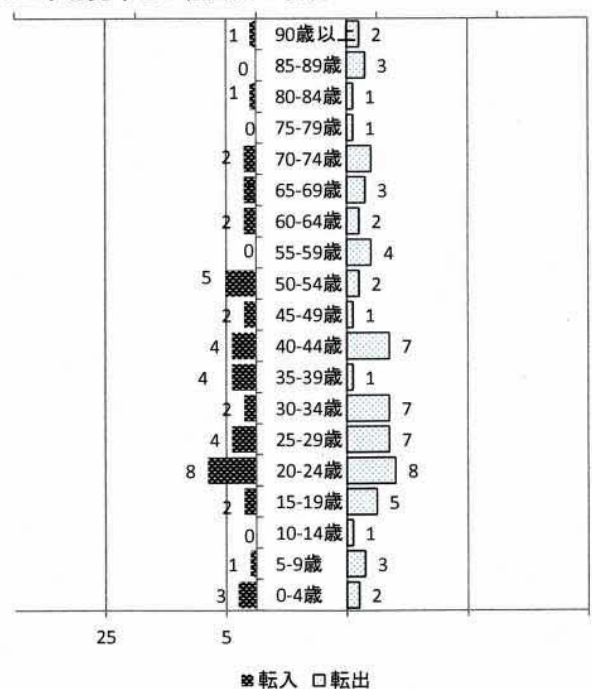
2022年の年齢別の移動の状況は、0～14歳の年少人口は0人、15～64歳の生産年齢人口は▲24人、老年人口は▲1人と減少は鈍化している。転出者は極端に減少したものの進学、就職期の転出は依然大きな割合を占めている。老年人口では一定数の社会減がみられる傾向があり、隣接市町の高齢者施設や医療機関への利便性などを考慮し転出する傾向は今後も続くと思われる。

期間合計特殊出生率の推移は、2015年が1.42、2016年が1.39、2017年が1.59、2018年が1.73、2019年が1.27、2020年が1.59、2021年が1.25、2022年は1.46となっている。出生の全体数が少ないため、数人の増減で、率は大きくぶれている。

2022年年齢別転入転出の状況



2022年北見市との転出入の状況



総合戦略の実績

数値目標 (2019年(基準)⇒2024年)

1. 力強い産業としごとを創る

農業生産額 : 135億円⇒140億円
 農家戸数 : 275戸⇒256戸
 起業・創業件数 : 4件⇒累計10件

重要業績評価指標

- ①新規就農者、後継就農者数 4件⇒目標値 累計10件
 2020年実績:新規就農者支援事業5件 (新規0件、後継5件)
 2021年実績:新規就農者支援事業4件 (新規0件、後継4件)
 2022年実績:新規就農者支援事業3件 (新規0件、後継3件)
- ②GPSガイドス及び自動操舵装置の導入農家数
 20戸(導入累計)⇒目標値 累計30戸
 2020年実績:産地生産基盤パワーアップ事業
 GPSガイドス導入 56戸
 2021年実績:GPSガイドス導入 0戸 事業完了
- ③商工会員数 102件⇒目標値 100件
 2020年実績:107件、2021年実績:105件
 2022年実績:106件
- ④サテライトオフィス 0件⇒目標値 累計1件
 2020年実績:0件、2021年実績:0件
 2022年度績:0件
- ⑤地域おこし協力隊数 0人⇒目標値 累計2人
 2020年実績:0人、2021年実績:0人
 2022年実績:1人
- ⑥先端設備等導入計画の認定件数
 10件(導入累計)⇒目標値 累計10件
 2020年実績:12件、2021年実績:3件、
 2022年度績:10件

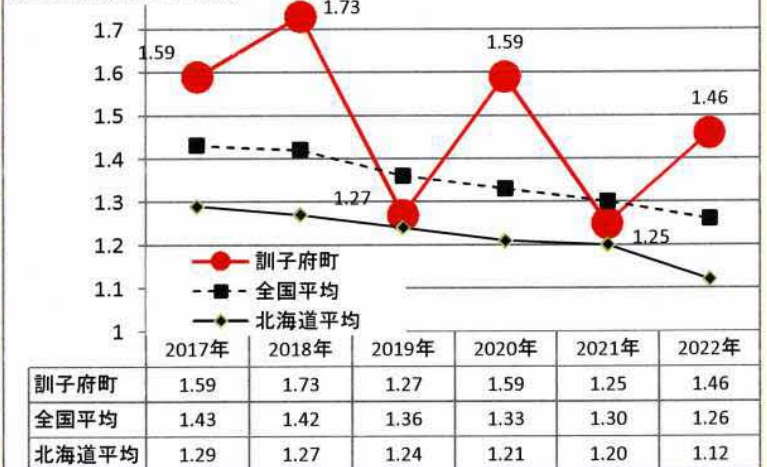
2. 安心して子どもを産み、育てることができる環境を創る

期間合計特殊出生率 : 1.73人⇒1.82人

重要業績評価指標

- ①こども園待機児童数(人) 0人⇒目標値 0人
 第1期総合戦略 平成27年～令和元年 待機ゼロを継続
 2020年実績:0人、2021年実績:0人
 2022年実績:0人
- ②子育てしやすい町と思う就業前児童の保護者の割合(%)
 91.4%⇒目標値 95.0%
 2020年実績:なし、2021年実績:なし、2022年実績:なし
- ③初妊婦を対象とした両親教室参加の割合
 36.4%⇒目標値80%
 2020年実績:62.5%、2021年実績:33.3%
 2022年実績:75.0%

期間合計特殊出生率の推移



3. 安心して住み続けることができる環境を創る

人口の社会減の抑制 : 66人⇒20人
 健康寿命を平均寿命へ近づける:男性79.81歳⇒平均寿命に近づける
 女性84.79歳⇒平均寿命に近づける

重要業績評価指標

- ①空き家活用移住、定住者数 6件⇒目標値 累計30件
 2020年実績:空き家活用定住対策事業7件 売買3件(町内) 売買4件(町外)
 2021年実績:空き家活用定住対策事業8件 売買2件(町内) 売買6件(町外)
 2022年実績:空き家活用定住対策事業3件 売買3件(町内) 売買0件(町外)
- ②首都圏からの移住件数 6件⇒目標値 累計30件
 2020年実績:7件 (東京都4件、埼玉県2件、神奈川県1件)
 2021年実績:9件 (東京都5件、埼玉県2件、神奈川県1件、千葉県1件)
 2022年実績:7件 (神奈川県4件、千葉県3件)
- ③地域おこし協力隊の任期終了後の町定着率 目標値 100%
 2020年実績:一率、2021年実績:一率、2022年実績:一率
- ④ふるさと応援団員数 523人⇒目標値 700人
 2020年実績:522人、2021年実績:600人
 2022年実績:647人
- ⑤特定健診受診率 43.1%⇒目標値 60.0%
 2020年実績:42.3%、2021年実績:44.4%
 2022年実績:44.0%
- ⑥自主防災組織 8組織⇒目標値 13組織
 2020年実績:8組織、2021年実績:8組織、
 2022年実績:8組織